

新・道の駅やまだがグランドオープン

地域の活性化に期待高まる

本町の新たな産業振興の拠点として、柳沢地区の三陸沿岸道路山田IC付近に建設が進められていた道の駅やまだ(愛称・おいすた)が完成し、7月23日にグランドオープンしました。オープン初日には約2500人が訪れ、開業を待ちわびた大勢の買い物客らでにぎわいました。ここでは、開業した道の駅やまだの様子を紹介します。



オープニングセレモニーでのテープカットの様子

観光・道路情報を発信する休憩施設

休憩施設では、総合案内所や休憩スペース、24時間利用可能なトイレとバリアフリーに対応した多機能トイレが設置されています。中央には、道路情報を確認できる電子掲示板のほか、町内の観光情報を検索できるタッチパネル式モニター「デジタルサイネージ」が設置され、町内の見どころなどを紹介しています。



観光情報などを発信するデジタルサイネージ



にぎわいを見せる産直売店

野菜や海産物、土産品 ずらりと並ぶ産直売店

地域振興施設の産直売店には、町内産の野菜や海産物、土産品がずらりと並び地元住民も日常的に利用できるよう豊富な品揃えとなっています。鮮魚コーナーには「いけす」が設置され、マダイやヒラメなどの活魚が訪れた人の目を引く仕掛けとなっています。店内の壁には、生産者や加工業者らの顔写真パネルが並び、作り手の顔が見える工

駅長から一言

誰もが「ワクワク」
する施設づくりを



道の駅やまだ
たけし 関口 駅長

7月6日のプレオープンからスタートし、ついに道の駅やまだがグランドオープンしました。買い物や食事に訪れたお客様が喜ばれている姿を見て、心からうれしい気持ちでいっぱいです。豊かな自然がある山田町は、日常とリゾートが混ざったような雰囲気を楽しめる場所だと思っています。このような町の特徴を生かし、町内外の皆さんにとって「リフレッシュの場」や「地域交流の場」となるような施設を目指していきます。また、山田IC付近に立地していることから、町の顔となる施設です。関係者や地域の方々と一緒に、訪れた人が町の魅力を最大限に感じ、誰もがワクワクする施設にしていきたいです。



オープニングセレモニーで行われた「えびすまき」



旬な味が楽しめるレストラン

旬の味覚が楽しめます

同施設のレストランでは、テーブル席20卓とカウンター、屋外コーナリーの合わせて約1000席が設けられ、料理が自動配膳されるよう、各テーブルにレ

夫が施されています。営業時間は、月曜から木曜までが午前9時から午後6時まで、金土日曜と祝日は、午前9時から午後8時までです。



ファストフード店の様子

道路休憩施設と地域振興施設の間にある「コリドー」と言われる屋根付き通路には、2店舗のファストフード店が営業しています。約10種類ものクレープやパウンドケーキ、メキシコ料理のブリトーなどが楽しめる店舗となっています。営業時間はともに午前10時から午後5時までです。

「コリドー」にあるファストフード店

ンが取り付けられています。海鮮丼やラーメンなどのほか、町内で水揚げされた新鮮な魚介類を中心とした「地魚にぎり」などの寿司があり、旬の味覚が日替わりで楽しめます。営業時間は、月曜から木曜までが午前11時から午後6時まで、金土日曜と祝日は、午前11時から午後8時までです。



来場者へインタビュー



内林さんご家族
(大沢地区)

家族でも楽しめる

気軽に足を運べる施設ができてうれしいです。さまざまな遊具が設置されていて、子どもが遊べる場所もありますし、施設全体がきれいで食べ物なども充実していました。これからも家族で楽しみたいですね。



新しい遊具を備える緑地広場

遊具など並ぶ緑地広場 親子連れの憩いの場に

同施設の裏側は、緑地広場となっていて、目新しい遊具「ふわふわドーム」が2台設置されているほか、イベントなどでもできる広いスペースがあります。グラウンドオープン初日から、多くの親子連れが利用し、笑顔で飛び跳ねる子どもの姿や、景色を眺めながら飲食を楽しんでいる様子も見られました。

山田の良さを感じる

駐車場も広く、きれいな施設で驚いています。産直売店やレストランなどで提供される山田町の新鮮な魚介類が特によかったですね。山田の良さを詰め込んだ施設だと感じました。また来たいですね。



熊谷さんご夫妻
(釜石市)